



三日のご坊

嘉念坊善俊上人

高山別院輪番 三島多聞



三日のご坊
高山別院ご坊さまでは、毎月三日・十一日・二十八日の定例法座が午後一時より勤まっています。三日の法座は昨年五月に新しくもうけ、『三日のご坊』と名づけました。その名称の由来を述べます。「ご坊さま」とは、「ご影」のことを指し、親鸞聖人や蓮如上人のご絵像のことです。私たち飛騨びとは、親しみをこめて「ご坊さま」といいますが、その「ご坊さま」は親鸞聖人のことを指し

ています。昔の人々は高僧のことを「ご坊さま」と呼びなしていました。『三日のご坊』と名づけましたのは、高山別院照蓮寺の開基(寺院を開いた最初の方)の嘉念坊善俊上人の命日を指しています。直接お名前を出すのではなく『三日のご坊』と表現しました。善俊上人のご命日に当たる三日を定例法座にしたということです。もちろん親鸞聖人のご命日二十八日は定例法座があります。

嘉念坊善俊上人
善俊上人は、後鳥羽上皇の第十二皇子で道尹と名のついでいました。その道尹が親鸞聖人と出遇ったのは、親鸞聖人が関東での教化を終え京都に向かう途中、伊豆の三島で法筵を開いている時でした。そこで聖人より本願念仏のみ教えを聞き、弟子となったのです。「嘉念坊善俊」の名を聖人よりいただいたかれました。その後諸国を行脚し布教しながら、越前国から穴馬を抜け美濃白鳥を訪れ、

そこに三年とどまり教化をされました。そこへ白川郷海塩村の千葉小次郎成政(願生寺の開基)が評判を聞き尋ねてきて白川郷への布教を依頼しました。これを機に善俊上人が飛騨に足を踏み入れることになったのです。白川郷鳩ヶ谷に念仏道場を開き、後に正蓮寺となっていくのです。善俊上人は一二八一年三月三日に往生されました。享年六十九歳。

上人から二代、三代と続き、第九代明教の時に内ヶ島氏との戦(一四八八)で正蓮寺は灰燼に帰し、明教の子・亀寿丸(後の第十代明心)は蓮如上人と実如上人に育てられ、正蓮寺の「正」を「照」に書き改めて、照蓮寺として莊川の中野に再建されました。照蓮寺第十三代明了の時、飛騨への侵攻(一五八一)をはかった金森長近に会い、長近が明了の人柄に惚れ込んだことにより、白川から高山へ照蓮寺を移すことを勧められました。ここに金森城主と照蓮寺に集まる門徒衆によって、高山の街が形成されていったのです。

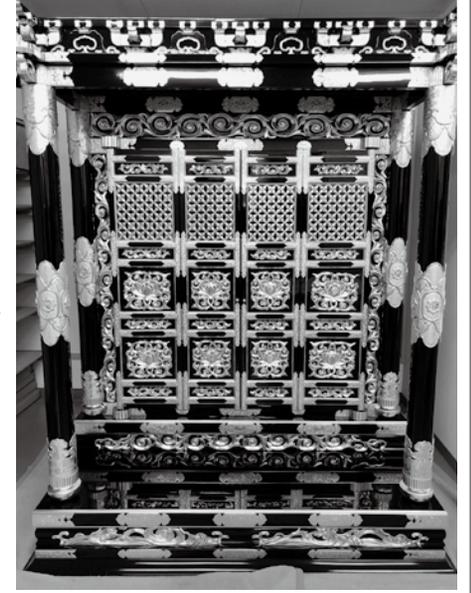
本年三月三日、上人の祥月命日のご法要は、上人のご影が納められる厨子(現在修復中)が、ととのって勤められます。

飛騨御坊 御遠忌通信 ⑭

嘉念坊上人御厨子よみがえる

現在、特別寄進により嘉念坊善俊上人御厨子と、両余間の床板が修復されています。3月3日の嘉念坊善俊上人の祥月命日には、見事にととのった莊嚴の前でご法要が勤まりますのでご参拝ください。

施工 床：シック建築工房
厨子：こすぎACT



嘉念坊善俊上人法要並びに顕彰会総会

飛騨における真宗の祖、嘉念坊善俊上人の祥月命日にあたる3月3日、高山別院本堂において法要と総会が行われます。総会後の講演会は、会員以外の方も是非ご聴講ください。(無料)

日時 3月3日(日) 午後1時 講師 三島多聞 高山別院輪番
会場 高山別院本堂 講題 「宗祖 御骨」

家族deご遠忌
~響かせよう!家族のうた
2019年 4月28日(日)
13:30~15:30
高山別院 本堂
おはなし (三島多聞 輪番)
おつとめ 正信偈の大合唱
いのちと夢のコンサート
参加費 無料 (プレゼントがあるよ)

ファミリーレストラン ひだご坊
●ハヤシライス(無料)
※数に限りがあります
●お餅もあるよ!
◇別院庫裡ホール
◇11:00~13:00

いのちと夢のコンサート
合唱作曲家の弓削田健介さんが、音楽を中心に、絵本や様々な映像を使っの楽しいコンサートを開きます!
いのちや夢、家族や人のつながり・・・
いま、みんなと一緒に大切なことを感じてみよう!

お米提供のお願い
家族deご遠忌では、地域の子もたちにあたたかい食事をふるまう「ファミリーレストランひだご坊」を開店します。そこで、食材としてお米の提供を募集いたします。ご協力くださる方は、4月10日までに高山教務所(担当:ムラカミ)までご連絡いただきますようお願いいたします。

☎ 11月11日(日) 10時～12時 中飯田正夫氏「貫蓮寺」
☎ 3月11日(日) 10時～12時 石田隆「西蓮寺門徒」
☎ 3月11日(日) 20時～22時 橋和子氏「妙覺寺」
☎ 3月11日(日) 10時～12時 宗教トラブル相談窓口(0577-3210763)

